



会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 CEO クリストフ・ウェバー
(コード番号 4502 東証プライム市場)

News Release

2024年6月26日

報道関係問合せ先 グローバル コーポレート アフェアーズ
本多 祥子 070-2687-3620
E-mail: shoko.honda@takeda.com

取締役分掌等の決定について

当社は本日、大阪市内で開催した第148回定時株主総会後の取締役会および監査等委員会において、取締役分掌等を下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

当社の取締役会は全14名のうち11名が社外取締役となり、引き続き取締役会の議論に透明性と客観性を確保します。また、当社の取締役会は、社外取締役が引き続き議長を務め、監査等委員会および任意の諮問委員会である指名委員会および報酬委員会は、委員長を含めて社外取締役のみで構成されます。

当社は強固かつ客観性および透明性の高いコーポレート・ガバナンスの実現に重きを置いており、すべての取締役会の意思決定と行動は、ステークホルダーの最善の利益を当社の価値観(バリュー)に沿った形で実現するべく行われます。このように強固なコーポレート・ガバナンス・モデルは、当社の成功に欠かせない要素であり続けます。

記

1. 監査等委員でない取締役(6月26日付)

氏名	区分		役職
クリストフ・ウェバー	社内	再任	代表取締役 社長兼チーフ エグゼクティブ オフィサー
古田 未来乃	社内	新任	取締役 チーフ フィナンシャル オフィサー
アンドリュー・プランプ	社内	再任	取締役 リサーチ&デベロップメント プレジデント
飯島 彰己	社外	再任	社外取締役 取締役会議長
イアン・クラーク	社外	再任	社外取締役
スティーブン・ギリス	社外	再任	社外取締役
東 恵美子	社外	新任	社外取締役
ジョン・マラガノア	社外	再任	社外取締役
ミシェル・オーシンガー	社外	再任	社外取締役
津坂 美樹	社外	再任	社外取締役

2. 監査等委員である取締役(6月26日付)

氏名	区分		役職
初川 浩司	社外	再任	社外取締役 監査等委員会委員長
ジャン=リュック・ブテル	社外	新任	社外取締役 監査等委員
藤森 義明	社外	再任	社外取締役 監査等委員
キンバリー・リード	社外	再任	社外取締役 監査等委員

3. 任意の委員会(6月26日付)

- 指名委員会: 飯島 彰己(委員長)、スティーブン・ギリス、東 恵美子、ミシェル・オーシンガー、ジャン=リュック・ブテル、藤森 義明、クリストフ・ウェバー(オブザーバー)
- 報酬委員会: 東 恵美子(委員長)、ジョン・マラガノア、ミシェル・オーシンガー、キンバリー・リード

<武田薬品について>

武田薬品工業株式会社(TSE: 4502/NYSE: TAK)は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域および事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2 世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約 80 の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

<重要な注意事項>

本注意事項において、「ニュースリリース」とは、本ニュースリリースに関して武田薬品工業株式会社(以下、「武田薬品」)によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本ニュースリリース(それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます)は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本ニュースリリースにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本ニュースリリースは、(投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく)情報提供のみを目的として受領者により使用されるという条件の下で(受領者に対して提供される追加情報と共に)提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本ニュースリリースにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使用されていることがあります。同様に、「当社(we, us 及び our)」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあります。

＜将来に関する見通し情報＞

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」、「予測する(forecasts)」、「見通し(outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能(AI)を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組みや、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>)又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上